

岡山県の食料産業クラスター推進概況

～おかやま食料産業クラスター協議会の取り組み～

1 おかやま食料産業クラスター協議会の概況

2007年8月7日、おかやま食料産業クラスター協議会を訪れ、事務局を担当している岡山県中小企業団体中央会連携開発課の大野雅美課長よりお話を伺った。

1.1 おかやま食料産業クラスター協議会の設立

岡山県では、産業労働部新産業推進課を中心に、これまで、岡山県工業技術センターに事務局を置く、産学官連携組織「バイオアクティブおかやま」（平成14年度～18年度）を通じ、機能性食品等の開発支援を行ってきた。これらの活動を内包する形で、平成17年11月に「おかやま食料産業クラスター協議会」が設立された。

1.2 おかやま食料産業クラスター協議会の取り組み

おかやま食料産業クラスター協議会の会員は、団体会員という形をとっており、農産物生産団体としてJA全農岡山、食品企業として岡山県食品産業協議会、流通・販売業として中国四国百貨店協会、研究機関として岡山大学を始めとした県内の大学、岡山県工業技術研究センター等がメンバーとなっている。

コーディネーターは、研究開発担当、食農連携・商品企画・販路開拓担当とタイプの違う2名を配置している。研究開発担当は、岡山市に本社がある食品・医薬品素材メーカー林原グループの元工場長 佐藤芳範氏が、食農連携・商品企画・販売開拓担当は、岡山を中心とした百貨店天満屋の元社員 谷口哲夫氏が務める。両名とも岡山県工業技術センター内にデスクを置き、週2日勤務で、岡山県新産業推進課、岡山県工業技術センターとも連携し

ながら、コーディネート活動を進めている。

おかやま食料産業クラスター協議会では、「バイオアクティブおかやま」時代から「岡山県の食材を使い、機能性のある新商品を開発する」というコンセプトで商品開発を進めている。

おかやま食料産業クラスター協議会関連商品（「バイオアクティブおかやま」開発商品等）

製品名	開発企業	共同研究機関
五黒まるやか酢 (クエン酸飲料)	キミセ醤油(株)	岡山大農学部 岡山大医学部
黒膳(黒豆納豆)	蒜山食品加工(株)	倉敷芸術科学大 岡山大医学部
紫イモ色素入り手延ベソーマン	てのひら会	岡山大学農学部 岡山学院大
玄德茶(二段発酵茶)	吉岡茶園	くらしき作陽大 岡山県立大
黒々茶(黒豆茶)	勝英農協	岡山大薬学部 岡山大農学部
玄德茶ベツボトル	(株)ソワニエ	岡山県立大
ギャバとうふ (GABA含有豆腐)	山陽豆腐	岡山大薬学部
鶏肉発酵調味料	岡山県醤油技術研究会	くらしき作陽大
びおっね耐(ピオーネ皮)	宮下酒造(株)	岡山理科大
ペプチヨーク(卵黄ペプチド)	備前化成(株)	岡山大薬学部
ナスニン含有食品	丸倉青果(株)	くらしき作陽大
ハトムギテンペ・パウダー	(株)半鐘屋、山陽カラーフォト	岡山大医学部
テンペ	JA岡山・女性部、(株)吉田本店、(有)ウカンファーマーズファクトリー	岡山大医学部
醤油セット(紅麴)	岡山県醤油工業(協)	広島大

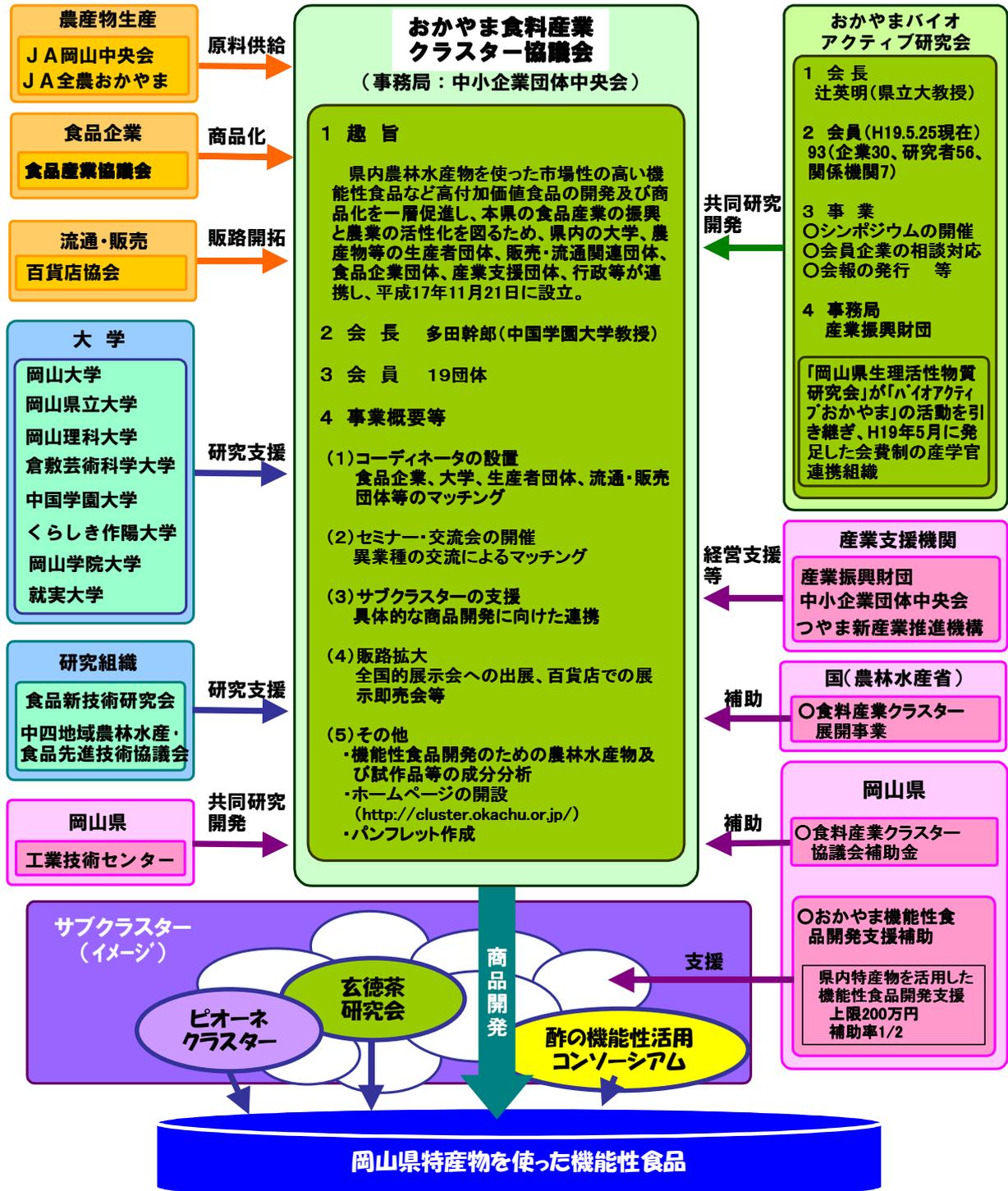
平成19年度事業計画

①役員会の開催（年4回）
②総会の開催（年2回）
③コーディネーターの配置（2名）
④人材・事業所データベース作成
⑤ポスター・パンフレットの作成・配布
⑥クラスター協議会のHP更新
⑦セミナー等の開催（年2回）
⑧専門分科会の開催（サブクラスター活動の推進）
⑨農林水産物等及び試作品の成分分析（25万円×4件）
⑩展示販売会の開催（年2回）
⑪食品展示会への出展

機能性食品開発に対して、これまでも岡山県が支援してきたこともあり、「バイオアクティブおかやま」の取組みの中から、いくつかの商品群が生まれている。

おかやま食料産業クラスター協議会となつてからの取組みとしては、開発する商品や原材料となる特産物にターゲットを絞った専門部会を組織し、従来よりももう

少し連携の幅を広げたグループで新商品開発を推進している。現在、会員の研究者が持っている技術シーズを活かし、ピオーネクラスター、玄徳茶研究会、酢の機能性活用コンソーシアムという3つのグループで、新商品開発が進められている。



おかやま食料産業クラスターの概略図

資料:おかやま食料産業クラスター協議会



おかやま食料産業クラスター協議会の事務局を担当している岡山県中小企業団体中央会連携開発課の大野雅美課長



岡山市内のおみやげ屋で販売されていた「びおうね酎」
（宮下酒造株式会社製造）

1.3. 今後の展開

岡山県の食料産業クラスターは、県が機能性食品の研究開発の支援を行ってきたこともあり、新製品開発はかなり進んでいる。ただし、実際に商品化まで至っていないものや、商品化されてもあまり販売が伸びていない商品なども散見される。今後は、おかやま食料産業クラスター協議会として、連携の枠組みが広がったことを生かし、県全体のこれまでの共同研究開発の蓄積を協議会の会員が共有することで、ブレークスルーとなる新たな連携や技術シーズ、商品開発・販売方法等を発見することにもつなげられるのではないだろうか。

【お問い合わせ】

おかやま食料産業クラスター協議会
〒700-0817 岡山市弓之町 4-19-202
岡山県中小企業団体中央会内
TEL 086-224-2245 FAX 086-232-4145

（文：社団法人食品需給研究センター 藤科 智海）